

第3章

LTspiceを使ってみる① 回路図エディタの編集ツール

LTspiceでシミュレーションを行うには、まず回路図を作成します。本章では、回路図を作成するために回路図作成画面で使用される各種編集ツールについて説明します。

3-1 — LTspiceでシミュレーションを行うには

- (1) まずLTspiceIVを起動します。
- (2) 回路図を選択し、回路図エディタを開きます。回路図エディタで回路図を作成します。回路図には、信号源も記入します。
- (3) シミュレーション方法を、回路図エディタで設定します。ダイアログに答えることで、シミュレーションのための、Spiceコマンドが作られます。そのため入門者でも、容易にシミュレーションの設定ができます。
- (4) ツール・バーのRUNボタンをクリックすると、シミュレーションが実行されます。
- (5) シミュレーション結果を表示するウィンドウが開き、マウスで回路図上の測定ポイントをクリックすると、シミュレーション結果がグラフとして表示されます。

この章では、回路図エディタで回路図を作成するために利用する、主な編集ツールを紹介합니다。

● 回路エディタの起動

デスクトップのLTspiceIVのアイコンを、ダブルクリックしてLTspiceを起動します。起動直後の初期画面でツール・バーのNew Schematicをクリックするか、メニュー・バーのFile>New Schematicを選択すると、**図3-1**に示す新しい回路図を作成するための回路図エディタのウィンドウになります。

注：第3章以降の図には旧バージョンのタイトルが表示されています。動作は最近のバージョンで確認済みです。

● 回路図エディタの基本操作

回路図作成のために必要となる、基本的な機能はツール・バーに設定されています。

マウス・ポインタをツール・バーのアイコンの上におくと、個々のアイコンの機能が表示されます。また、メニューの項目を選択すると、プルダウン・リストに、図3-2に示すようにアイコンの種類、機能およびショートカット・キーが表示されます。これにより、アイコンの機能の概要が確認できます。

メニュー・バーのEdit (編集) を選択したときに利用できる機能について概要を説明します。()内にショートカット・キーも示します。' ' で囲まれた文字はその文字のキーを示します。文字のキーは回路図エディタの画面では、Rなら「抵抗のシンボルの呼び出し」のように指定された機能呼び出します。F2からF9はファンクション・キーを示し、Ctrl +

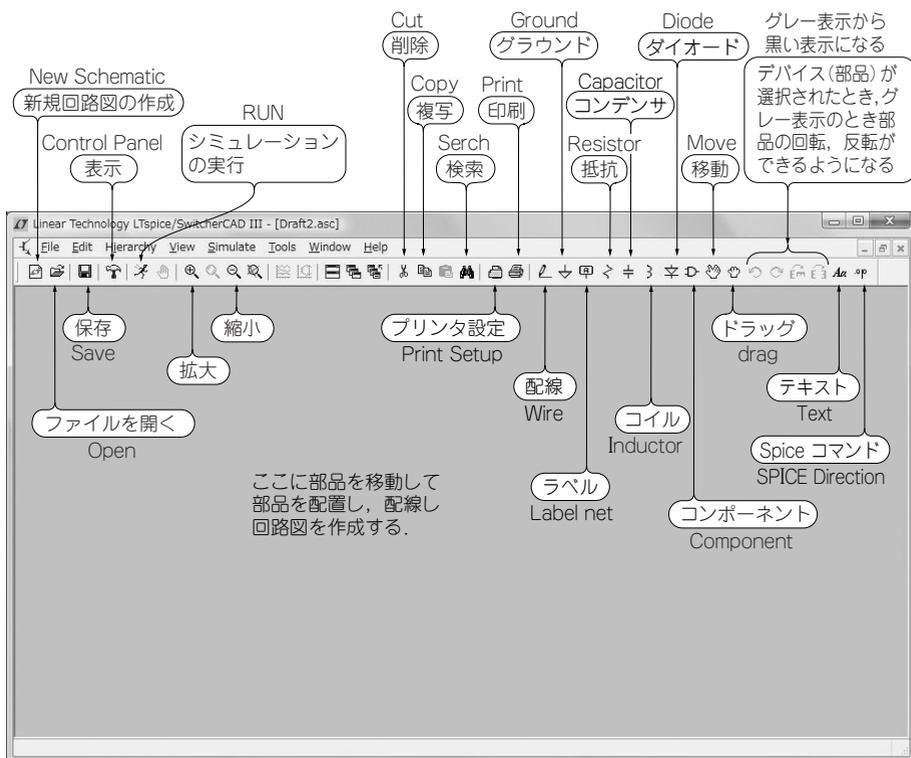


図3-1 回路図エディタの初期画面